

空に向かって

10名の入学生を迎えて、新しい22年度の出発をしてから3週間ほど過ぎました。登校する1年生の足取りも日ごとにたくましくなってきました。今年の4月は気温も低く、風の強い日も多いのですが、毎日見守ってくださる地域の皆様のおかげで、子どもたちが安全・安心に元気に登校しています。子どもたちとあいさつを交わすと元気が出てきます。

海岸に大きな木がありますが、毎日ぐんぐんと葉っぱが空に向かって伸びていくのを見ながら、子どもたちの成長も同じだと実感しています。かけがえのないのち、この世に生まれて、光るために生まれて来た一人ひとりの存在。この子らと同じ時を過ごすかけがえのない時間。うれしい時間になりたいと願っています。

夢に挑戦！

「夢に挑戦！～Let's make our DREAM Come True」を学校教育目標に掲げています。これは昨年継承ですが、この文言を分かり易い子どもの言葉にし、具体的な実践を展開していきます。早速、6年生が「夢」について詩を書いてくれました。毎日、唱えたり、歌ったりして、子どもたちが夢に向かって進む力のある言葉にしたいと思っています。

教育は出会い

教育は人の出会いです。出会いのチャンスをのがさず、子どもたちの教育につなげたいと思います。

夢や勇気やアイデアをもって、学校にいろんな方が訪問して下さいます。12日、オーストラリアの教師クリスティーンさんが来校し、子どもたちに英語の本をたくさんプレゼントしてくれました。26日、アメリカの芸術家グレゴリーさん、ムサさんの2名が来校、5月に子どもたちに授業をしてくれます。学校の庭に記念に「ドリームキャッチャー」というアートを置いてくれるという話になりました。「夢に挑戦」という教育目標にぴったりです。何と！このうれしい出会いとタイミング。「ハロー！」子どもたちが集まって来て英語で話しかけています。すばらしい！子どもたちはインターナショナル。春の校庭に陽気な新しい風が吹いてきました。

海に広がる

子どもの時に時間をかけて醸成したものは大人になってからも人生の宝物になるはずです。私が小学校のときに体験した風景も光も色も今でも覚えています。そして人生のあらゆる場面で、これらが発想やイメージになり、苦しいときも勇気をくれたりします。内外海には人材が育つ環境がそろっています。美しい風景、豊かな自然、歴史、文化、がんばっている地域の活力、つながり、これら全てが子どもたちの元気と勇気をつくってくれます。

内外海小学校の教育を「内外海」という名前を入れてのイメージしています。「内」を充実していけば、「外」に光り、「海」という世界に子どもたちの夢は広がります。内外海という名前は本当にすばらしい名前です。内海と外海、そこから若狭湾、日本海、世界に広がる海の道が続いていきます。

チーム内外海

これまで出会った先生方のおかげで気概をもって進んで行くことを学びました。旧堅海小学校の校庭に恩師上前正己先生が刻まれた碑があります。「玉磨かざれば光なし」この碑文から今もずっとエールをいただいています。私たち教職員も、子どもたちの人格形成の上で責任重大です。子どもに教え、子どもから学び、子どもと共に前に進み行く教職員チームでありたいと願っています。地域の皆様、どうか、「チーム内外海」で子どもたちをお守り、お育ていただきますよう心からお願い申し上げます。

(校長 大森和良)

【あとがき】学校通信のロゴとイラストは足立直紀さんがデザインしてくれました。学校の庭にいる子象のパオン（波音）が、子どもたちといっしょに夢に向かって行くイメージにしました。通信はテキスト中心で地味な白黒ですが、ホームページには子どもたちの活躍の様子をアップしたいと思います。